

会長挨拶



大阪産業大学ラグビー部OB 会の皆様におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。又、平素よりOB 会の活動に多大なるご尽力とご理解を賜り厚く御礼申し上げます。

本年度は、我々の悲願でありました生駒グラウンドの整備が開始されました。年内中には、新たな人工芝グラウンドが完成する運びと成りました事、報告申し上げます。本グラウンド改修事業に対し、多大なるご尽力を頂きました、大阪産業大学校友会 弓場会長様には心より感謝申し上げます。

本年度は、OB 会の組織改革にも着手し、事務局 .会計 .カーニバル実行委員会を組織表に明記すると共に担当責任者を任命し、開かれたOB会を目指して参ります。昨年度迄、小冊子の形で発行しておりました「駒友」を本年度からデジタル化して参ります。

過去のリーグ戦試合結果や多くの写真や投稿頂きました文面、又 今シーズンのリーグ戦試合日程、試合結果、OB 会に関する情報をいつでもご覧頂ける様にして参ります。デジタル化の先には、リーグ戦の試合中継等も計画しております。遠方におられますOB の皆様にも 現役諸君の戦う姿を観て頂ける様にして参ります。近年は、リーグワンで活躍されているOBも多く輩出しております。非常に喜ばしく、現役諸君の目標や励みにもなるかと思います。

皆さんのこれからの活躍に期待しております。現役諸君へのサポートは、卒業生に向けた就職支援もごございます。デジタル化した駒友の中でOBの皆様からの就職情報も掲載させて頂きますので、ご協力を賜ります様 お願い申し上げます。

皆様にはご健康にご留意されまして、ご一緒にリーグ戦で応援が出来ます事を楽しみにしております。

今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

OB会長 もちやま としひこ
待山俊彦

2025年菅平夏合宿に参加しての所感

のせ たかし
4期生 野瀬 隆



菅平に来たのはコロナ騒動以来6年ぶりで、大学の現役チームをじっくり見させてもらったのは初めてでした。スタッフを入れて80名超の大所帯でしたが、規律も良くチームとして皆さんが見つめていますところがしっかりしていて、頼もしく力強さを感じ、期待感で一杯です、是非ともリーグ戦を勝ち抜いて入替戦に進んで貰いたいと思います、微力ながらOBとして応援致します。OBの参加者は会長はじめ年配者ばかりで、もう少し若手のOBの方達の参加が有ればと思いましたが、私も普段はなかなかチームを見に行けていけませんので、今後は、大阪での試合観戦に行けますよう努力致します。最後にOB会の幹部の皆様への現役チームへの支援活動に感謝申し上げます。

以上



新顧問よりごあいさつ

たなかひろまさ
経営学部教授 顧問 田中宏昌



OB会の役員ならびに会員の皆様、そして現役部員の保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より大阪産業大学ラグビー部へのご支援、ご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度も、部員たちは日々練習に励み、各種試合において、全力で挑戦を重ねております。勝利の喜びもあれば、敗戦の悔しさも経験しながら、学生たちは一回りも二回りも成長していく姿を見せてくれております。勝敗もさることながらそれ以上に、仲間との絆や努力の積み重ねを大切にする姿勢は、まさにラグビーという競技が持つ精神そのものです。また、先輩方が築いてこられた伝統と誇りを、現役学生が確かに受け継ぎつつあることを実感しており、顧問としても誇らしく思うところです。

顧問として、できる限りのサポートを行っていく所存ですが、今後とも、OB会の役員の方のご指導とご声援が、現役部員たちにとって大きな力となります。変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

今シーズンのチームスローガン『前進』

まつもと てつじ
監督 松本 哲治



OB会員の皆様、平素は現役選手に対する格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。
関西大学リーグは2026年度よりリーグ改編（BリーグはAリーグ同様、12チームから8チームへ減少）が行われ、今年度のリーグ戦順位をもとに下位4チームが自動降格。7位・8位がCリーグとの入れ替え戦へ回ることとなります。

昨年度は最上級生のリーダーシップやまとまりが良く、5シーズン振りに上位グループで順位決定戦へと進むことが出来ました。これも近年、春の練習試合・夏合宿・秋の公式戦と多くのOB会員の皆様が応援に駆けつけてくださり、また一緒に戦っていただけた結果だと感謝しております。

今シーズンはチームスローガンを『前進』と掲げております。人として、チームとして、プレーの局面で、あらゆる状況や場面で一步でも前進するという意味を込めております。

また、例年以上にウエイトトレーニングの回数を増やし、フィジカルの強化にも努めております。これから始まる厳しい猛暑の夏季期間では個人・ユニット・チームの強化を図ると共に、通常練習やトレーニング、菅平での対外試合、プレシーズンマッチ等で出てくる課題にしっかり向き合い、修正を繰り返しながら、秋の公式戦で目標を達成できるよう選手・スタッフ一同全力で取り組んで参ります。今後ともご理解・ご協力、そしてグラウンドでの応援
よろしくお願い申し上げます。

今シーズンへの思い

たかはら はるえい
主将 高原 治英



先輩 OB の皆さまには、いつも温かいご支援と激励をいただき、心より御礼申し上げます。本年度、私たち現役部員一同は、長い歴史と誇り高き伝統を受け継ぐ責任を改めて胸に刻み、昨年以上の成果を残すべく全力を尽くす覚悟でおります。試合で勝利を収めることはもちろん、日々の練習や鍛錬の一つひとつに真剣に向き合い、仲間とともに切磋琢磨しながら精進してまいります。全員が同じ目標に向かって心をひとつにし、互いを尊重し支え合いながら、どんな苦しい場面でも決して諦めることなく挑戦を続ける所存です。先輩方が築き上げてこられた歴史を決して汚さぬよう、その重みを真摯に受け止め、結果で恩返しすることこそが私たちの責務であると強く認識しております。どのような状況にあっても逃げずに体を張り、最後まで勝利を信じて戦い抜くことを誓います。今年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

副会長あいさつ

28期生（OB会 副会長）

かすみ としや
加角 聡也



今期よりOB会副会長をさせていただくことになりました28期の加角です。微力ではありますが諸先輩方のお知恵をお借りしながら、また若い世代のOB会員の方々も含めた世代を超えた活動で現役選手、並びにOB会を盛り上げていきたいと思っています。

昨年のリーグ戦では1次リーグ2試合、2次トーナメント2試合を観戦させて頂きました。特に1次リーグ甲南大戦ではロスタイムに入っているからの逆転トライ、そしてノーサイドという劇的な試合を目の当たりにすることができました。選手たちの最後まであきらめない戦い方には本当に感動しました。ゴールが決まった瞬間はOB一同と、ご父兄の方々が一体となって喜びを分かち合いました。現役の選手たちを応援する気持ちはみんな一緒であると実感しました。

また、2次トーナメントでは強敵大阪体育大学です。終わってみればさすがの大体大でした。しかし点差こそ付けられたものの内容はそれほど悪いようには感じませんでした。むしろ大産大が押している時間帯もありました。相手が明らかに「落ち着いてゲームできていない」という場面もあったのですから。

自身、現役から離れて30年近くが過ぎましたが後輩たちがこのように頑張り、結果を残してくれていることはOBとして誇りに思います。

長年の念願でありました人工芝のグラウンドが完成しました。素晴らしい環境のもと選手たちの練習する意欲を一層駆り立てるものになったのではないのでしょうか。今年も我々OB会がワクワクする戦いをしてけると期待しています。

OBとしての感慨深い試合観戦

19期生

いいだ しげひろ
飯田 成広



私は今年、ゴールデンウィークに帰省した際、久しぶりに生駒グラウンドで現役ラグビー部の練習試合を観戦する機会がありました。これまでOB会幹事として任命されていましたが、東京勤務のため行事には参加できない状況が続いており、この機会は非常に貴重でした。実際、大学訪問はリクルート活動を通じて数回行っていましたが、現役部員の試合を観るのは卒業以来初めてでした。

懐かしい生駒グラウンドが人工芝に変わっており非常に立派になっていましたが、何よりも当時を思い出させてくれる諸先輩方、同期、後輩との再会がとても懐かしく感じられました。東京在住のため秩父宮ラグビー場で何度か試合観戦をしていましたが、現役生の試合もそれに劣らない迫力がありました。監督・コーチ陣の指導のもと、トレーナーやマネージャーなどスタッフが充実しており、現役部員の試合のレベルが格段に向上していることを実感しました。

私にとって最も感動的だった試合は2015年のワールドカップで日本が南アフリカ共和国に勝利した瞬間ではなく、実は2008年にラグビー部が初めてAリーグに昇格した試合をYouTubeで観た時でした。その喜びと誇りが今でも忘れられません。そして現役の諸君には、今年のリーグ戦で厳しい試合が続くことが予想されますが、悔いの残らないよう全力を尽くしてほしいと願っています。OB会としても、悲願のAリーグ再昇格を目指して可能な限り支援を行い、再びあの感動を味わえる日を心待ちにしております。そして秩父宮ラグビー場での活躍を大いに期待しております。